地域未来創造会議（宇城地域）議事概要

１　日　時　令和８年１月１６日（金）　１５：３０～１７：１５
２　場　所　宇城地域振興局 ３階大会議室
３　出席者
（１）市町長
元松宇土市長、末松宇城市長、上田美里町長
（２）県議会議員（オブザーバー）
西山議員、吉田議員
（３）県
［本庁］
木村知事、富永部長、若杉地域振興課長　他
［広域本部・地域振興局］
橋本県央広域本部長、永野宇城地域振興局長、浦津宇城地域振興局次長　他
４　議事内容
（１）前回会議のフォローアップ状況報告
（２）市町長からコメント
（３）意見交換
①「３市町と台南市との友好交流協定」等を活かした今後の取組
② 宇城地域の振興の観点から見た交通課題等
③ 令和７年８月豪雨による災害からの復旧・復興

概要

会議では宇城地域の活性化に向けて、台湾（台南）をターゲットとした観光振興・交流拡大等、ＪＲ三角線や路線バスなどの地域公共交通課題等への対応などに関することが話し合われた。主な意見は次のとおり。

①「３市町と台南市との友好交流協定」等を活かした今後の取組

- 台南市で、本年３月に行われる湯徳章の記念式典に合わせ、２市町で台南市の教育部門等を訪問する予定。３市町の中学校に在籍する生徒の台南市訪問を検討しており、実現できるよう取り組んでいきたい。
- 台南市と宇城地域の交流として、「ｅスポーツをフックとした学校間交流」や「サイクルツーリズムを核に据えたアウトドア体験」を実施してはどうか。
- 台湾側の学校長を熊本に呼んでのファムツアーなどは有効ではないか。学校関係の交流について何かあれば、県教育委員会でも対応する。
- 令和６年に三角駅観光案内所を訪れた外国人観光客のうち７割が台湾人観光客。しかし、行先は天草方面が多いと思われる。それらの方々を宇城地域に長く滞在させる方法を考えていかなければならない。
- 旅行会社と連携し台湾の方向けの宇土市の観光ルートを10コース造成したところ、４件、80人のインバウンド獲得に繋がった。このような動きを３市町で連携させ、宇城管内を周遊するような形で展開できれば良いのではないか。台湾向けの情報発信については、インフルエンサーの活用が有効である。
- 着地型観光には地域の担い手が必須であり、インバウンド客に対しての言葉の問題などはあるが、３市町連携しての仕掛けは重要であり、県所管課とも相談しながら進め

ていって欲しい。

- 先日（1/11～1/13）、台湾を訪問した際、台南市側から農産品の輸出入を強化したいとの話があった。台湾・熊本県双方で、各地での巡回物産フェア開催などを実現できればと考えている。

② 宇城地域の振興の観点から見た交通課題等

- ＪＲ三角線の維持は必須である。地域公共交通については、市町間で協力できることがあれば連携し取り組んでいくが、宇城地域に留まらず、広域で考えていかなければならない。また、産交バスの撤退によりできた公共交通の空白地区には、コミュニティバスを増やすことを検討している。
- 運転手不足の中、人口に比して面積が広い地域の公共交通の状況は苦しい。スクールバス運転を受託しているタクシー会社も高齢化により運転手不足の状況にある。
- ＪＲ以外の地域交通については、ドライバー不足に加えて高齢化も深刻。どのように継続可能な形で交通網を構築していくか、広域的な視点でコスト面も含め考えていく必要がある。
- コミュニティ交通について、宇土市のコミュニティバス「行長しゃん号」の利用者は、住民の高齢化もあり増加しているが、それでも収支は相当のマイナス。
- 宇城市は、これまでコミュニティバスの運営は行ってこなかったが、バス路線の廃止が続く中、代替手段を広く検討する時期にある。
- 美里町は、町域が広く、町外に買い物に出かける先も砥用地区は矢部へ、中央地区は甲佐方面へと行先が違っており、対応が難しい状況。
- 県としても、公共交通は令和８年度から大きく動かしていく。福祉車両やスクールバス等を総合的に運用していけないかを検討していく時期だと考えている。各地域の公共交通を考えるうえで、運転プレイヤーがどれだけいるのか、また、ユーザーがどれだけいて、目的地がどこかを把握する必要があり、県も協力する。
- 熊本駅を拠点とした三角線の在り様については、県が中心となって熊本市・宇土市・宇城市・上天草市も含めたところで進めて欲しい。
- ＪＲ三角線の利活用を観光の面から強化していく必要があると思っている。三角東港や緑地公園も観光資源として利活用ができないか検討して欲しい。
- 宇城市内に鹿児島本線が走っていることは非常に恵まれている。駅中心のまちづくりに取り組むにあたって、今後きちんとした土地開発を考え、まずは小川駅、次に松橋駅周辺の賑わいを創出したい。
- 駅前開発の進め方等、必要な点については、県としても検討段階から意見交換を行うなど、協力する。
- 熊本宇土道路の早期完成、熊本天草幹線道路と熊本西環状道路の接続を見据えた早期ルート確定と事業化及び熊本市から宇城地域を通り八代へと至る国道３号以外の縦軸（国道５０１号～県道３３８号線）となる道路整備を望む。

- 美里町の視点で道路整備を考えると、城南のスマートインターへ抜ける道路が必要と考える。

③ 令和７年８月豪雨による災害からの復旧・復興

- 昨年８月の災害により、他自治体からの職員派遣をお願いしているところ。ありがたいことに遠方の市町村からも派遣いただいているところであるが、派遣元の気持ちを考えると、可能なら県内、次に九州内から職員派遣をお願いしたい。
- 職員の確保については、どの自治体もかなり厳しい。定数の問題はあるが、思い切って採用していかないと人員の確保は難しいと考える。共同採用をしているところもある。共同採用については、相談があれば県も協力したい。

その他

- 熊本市近隣であるがゆえに当地域は埋没しがち。都市圏にある宇城地域の適正な土地利用等について、広域的なデータ等を基に県からアドバイスいただきたい。
- 県で検討中のスポーツ施設建設等について、市町村が誘致するに当たっての前提条件を示していただきたい。

今回の会議内容を基に、次の事項について引き続き県と市町で事務的に今後の展開等を検討していくこととなった。

（１）宇城地域の中学校に在籍する生徒の台南市訪問実現等に向けた取組
（２）宇城管内を周遊するような形での台湾の方向けの着地型観光の実現等に向けた取組
（３）宇城地域の地域公共交通課題（運転プレイヤーやユーザーニーズ等）の解決に向けた整理・検討（県所管課と協力しながら進める）